



### インキ吸入方法

- 1.後部つまみAをゆるめ、ペン先全部をインキ液面に浸します。
- 2.後部つまみAを、すべて(引き出せなくなるまで)引き出します。
- 3.インキに浸った状態のまま、後部つまみAを引き出す～戻すを繰り返します。

後部つまみの往復動作でインキが徐々に吸入されます。

吸入中、ペン先根本から泡がでます。その泡が出なくなったら、吸入動作終了です。

満量吸入したあとは、後部つまみAの往復動作が少しだけ重くなります。

- 4.吸入動作完了後は後部つまみAをねじ込んで下さい。

※首Bを取り外して、スポイトで中に直接インキを入れたり、軸の中のインキを排出することも出来ます。

### 筆記方法

- 1.キャップを外し、後部つまみAを少しゆるめてから筆記して下さい。  
後部つまみAをゆるめることにより、軸の中からインキが出ます。
- 2.筆記終了後は、後部つまみAを閉め、キャップを装着して下さい。

## masahiro 万年筆製作所 M形吸入方式万年筆 ご使用のポイント

- 筆記時は、キャップを外した後、毎回後ろの後部つまみを少しゆるめたままの状態でご使用頂き、ご使用後はキャップを装着する前に、後部つまみもネジ締めて下さい。
- キャップの開閉は、キャップの方を固定し、軸を回すようにすると、操作が容易です。
- キャップのネジを締めるときは、キャップをかぶせて、軸のオスねじとキャップのメスねじが当たった状態から右に回してキャップをネジ締めて下さい。オスねじとメスねじが当たった状態からネジ締めて頂ければ、ネジのかみ合いがスムーズです。

キャップは、きつめに締めて頂いても大丈夫です。

- ご使用頂くインキは、万年筆用でしたらどのメーカーのものでも大丈夫です。吸入時、ペン先を瓶の底などに当ててペン先を傷めないようにご注意ください(吸入アダプター付きのパイロット INK-70 のご使用が便利です)。

透明軸を除き、実際の吸入量は軸の外からは見えませんので、吸入量は軸を振ったときに内部から聞こえる液体の流動音で把握して頂くことが可能です。中のインキの残量にかかわらず、インキを吸入して頂ければ、軸内部に存在するインキを排出することなく安全に継ぎ足し補給が可能です。

- 首を外して直接インキを入れたり、内部のインキを排出したりすることができます。首はある程度の力でネジ締めて下さい。首を開閉するときは、必ず後部つまみをゆるめた状態で首を開閉して下さい。

首と胴体のつなぎ目は車のエンジンのバルブのように完全にすり合わせてありますので、パッキンが無くても完全に気密が保たれ、インキが漏れることはありません。

- 軸内部やペン先を洗浄する場合は、首を外して首全体（ペン先・ペン芯）と軸内のインキを流水洗浄して頂いた後、吸入方式で水を吸入し、首を外して水を排出する吸入動作を何度か繰り返して洗って下さい。



- この万年筆は、瓶からインキを吸うことが出来る構造ですが、首を外して、直接インキを入れることも可能です。直接インキを入れる場合は、付属のスポイトや、スポイトボトルの中にインキを入れて、画像のようにインキを補充して下さい。スポイトボトルの中にインキを入れておきますと、携帯に便利です。

瓶から直接インキを吸うことも出来、直接スポイトで入れることも出来る併用式、言うなれば、オートマチック車でマニュアル操作を行えるような感覚です。

422-8017

静岡市駿河区大谷 769-3

masahiro 万年筆製作所

携帯電話 TEL 090-5872-3730 FAX 054-298-7473 masahiro14k@gmail.com